

指令 二月十日

伺之通

八年二月八日  
影見 洲鑑

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

八年二月五日

名古屋鎮臺下士兵卒ノ入院入室ノ病者ニ給與方ヲ伺  
定ス

名古屋鎮臺ヨリ本首ノ伺

下士兵卒入院入院之者定則之通押給可致ハ勿  
論假患日曜日並年中定例之祝祭日ニ當テハ都而一  
般休暇ニ差許假儀ニ付日給全數下賜可然儀ト存假  
得共判然不致假ニ付何分ノ御指揮被下度此段相伺  
候也

指令 二月廿四日

伺之趣下士兵卒入院入室中ノ一般之休暇ニ當ル  
ト雖ハ定則之通減給可致事 影見 洲鑑

公文書 明治八年

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

八年二月九日

清國公使館附陸軍大佐ノ参謀局管轄トナルモノ等係  
給下賜方ヲ定ム

参謀局ヨリ本省ニ伺

陸軍大佐福原和勝清國公使館附勤中當局管轄被仰  
付假免俸給之儀、何程支給仕假ヲ可然哉何分之御  
指令至急相成度以段相伺假也

指令 二月廿四日

伺之趣別紙之通給與方其局ニ於テ可取討假事  
別紙

一金五百圓

右外國在勤支度料

一金百貳拾圓